

応募締切迫る！ 「第4回ひなた短編文学賞」7月31日まで作品募集中

受賞作品は福島県双葉町で展示・朗読——町を歩きながら物語を体験する
「まち歩きインスタレーション」も開催決定！

フレックスジャパン株式会社（本社：長野県千曲市、代表取締役社長：矢島隆生）は、全国から短編小説を募集する「第4回ひなた短編文学賞」の作品応募を、2026年7月31日（金）まで受け付けています。

今回は新たに、受賞作品を福島県双葉町で体験できる場を創出します。授賞式・朗読会に加え、受賞作品を様々な形で町内各所に展示する「まち歩きインスタレーション」を2026年12月に開催する予定です。あなたの物語が、復興へ歩む双葉町のまちなみを彩り、訪れる人々を迎えます。



■ 受賞作品をまちに展示、双葉町の風景と共に感じる作品の世界を。

今回の大きな特徴は、受賞作品がウェブや冊子にとどまらず、双葉町の中にあふれ出す施策を実施する点です。

1. まち歩きインスタレーション（2026年12月・双葉町内各所）

受賞作品をさまざまな形で双葉町内の複数箇所に分散展示。来訪者が町を回遊しながら物語を読む、体験型の企画です。

2. 授賞式・朗読会（2026年12月上旬・双葉町内施設にて開催予定）

受賞者・選考委員を双葉町に招いた授賞式と、受賞作品の朗読会を開催します。

※朗読対象の作品は、一部の予定です。

3. 受賞作品集の制作・贈呈

受賞全作品を収録した作品集を制作し、イベント来場者への配布に加え、双葉郡内の学校・図書館などへ贈呈します。地域の方々にも、全国から集まった物語を届けます。

■ 募集概要

名称	第4回ひなた短編文学賞
募集内容	1,200字以内の小説。※スペース、改行は文字数としてカウント致しません。
テーマ	「記憶」
応募資格	プロ、アマ不問。
応募締切	2026年7月31日（金）17:00 まで
応募方法	特設ページ応募フォームより  https://restitch.jp/pages/hinatabungakusho2026
賞	大賞、MFU賞、双葉町長賞、準大賞、佳作、アイデア賞、ティーンズ賞
選考	塚田 浩司氏（小説家）、伊澤史朗氏（双葉町長）、矢島隆生（フレックスジャパン(株)代表取締役社長）、蜂賀三月氏（小説家）、ひなた工房運営スタッフ ほか
結果発表	2026年11月末予定（受賞者へ通知のうえ、公式サイト等で発表）
主催	フレックスジャパン株式会社 【共催】一般社団法人日本メンズファッション協会
協賛	ランドポート株式会社
後援	Ytt design and couture / open roastery Alu. / 郡山女子大学 / 株式会社信州ケーブルテレビジョン / 千曲市 / 株式会社太田屋 / ちくま未来新聞社 / 一般社団法人ちくま未来戦略研究機構 / 福島売場 / ファーストフード店ベンギン / 株式会社やまと
協力	塚田浩司（小説家） / 蜂賀三月（小説家）

■ ひなた短編文学賞について

「ひなた短編文学賞」は、2023年7月に双葉町で開業した衣料品リメイクのアトリエ「ひなた工房 福島双葉」の開業記念企画として誕生しました。2011年3月に発生した東日本大震災および原発事故を経て、“新しい町づくり”が進む双葉町と、思い出の詰まった衣服を新たな形へ生まれ変わらせる「ひなた工房」。両者に通底する「生まれ変わる」という想いを重ね合わせ、作品を募集してきました。



受賞作品は受賞作品集としてアーカイブ

<本リリースに関するお問い合わせ先>

フレックスジャパン(株) コミュニケーションデザイン部 担当：小林

TEL : 026-261-3000 / MAIL: seiyak@flexjapan.co.jp